

西胆振地域の課題

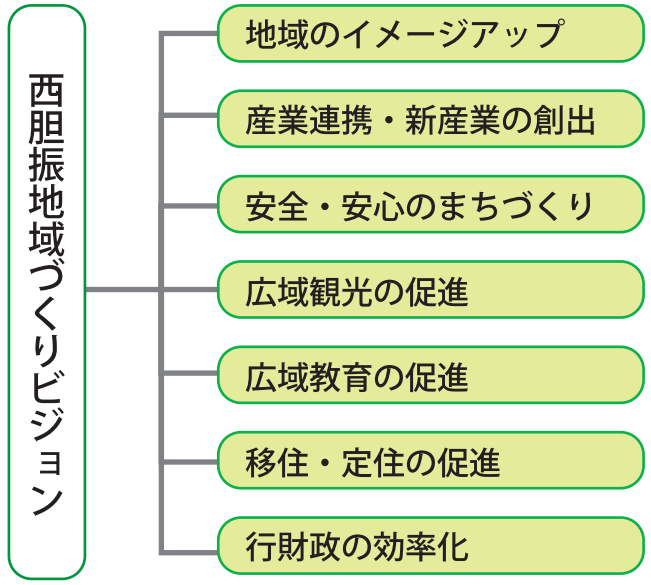
- 人口** 人口の減少が見込まれ、若年層をはじめとした流出の抑制や少子高齢化対策、移住促進が必要です。
- 産業** 1次産業における担い手の育成やブランド化の促進、多様な産業集積を活かした農商工の連携、地産地消の取り組みなどが必要です。
- 教育** 少子化の進行に伴う学校の再編統合への対応が必要であり、高等教育機関や地域資源を活用した教育内容の充実なども必要です。
- 医療** 道内では比較的、医療環境が整った地域ですが、小児救急医療や周産期医療の確保、医師不足地域での医療体制の確保などが必要です。
- 行財政** 人口減少等による税収の減少や、高齢化の進行による財政負担の増加が見込まれます。

まちづくりの可能性

西胆振地域は、北海道洞爺湖サミットの開催により世界に地域の情報が発信されました。また、豊かな農水産物、国内有数の製造業の集積や世界的に有名な温泉観光地があり、暮らしに欠かせない医療・福祉・教育機関もあります。

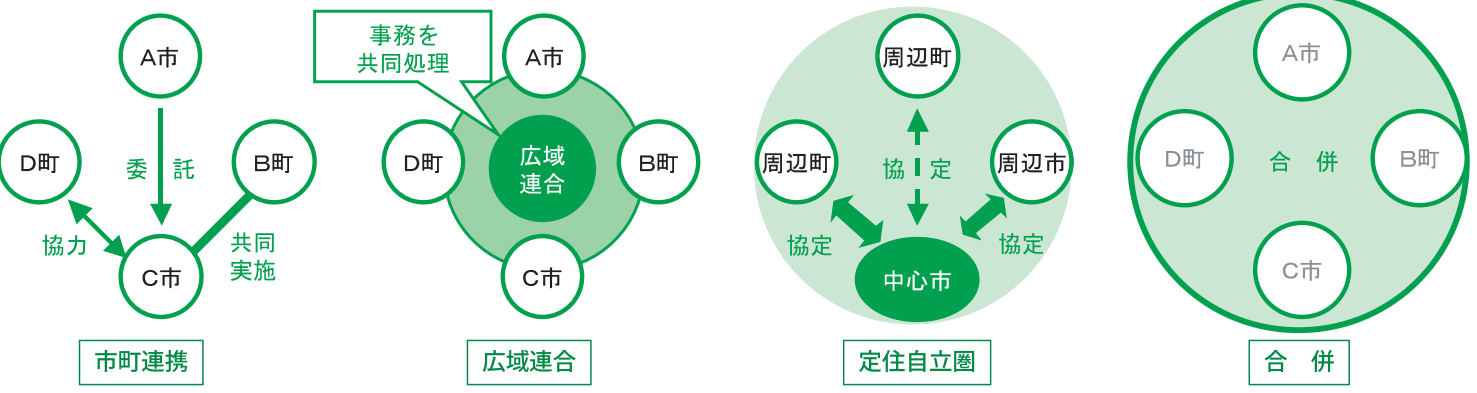
西胆振が一つになることにより、地域の総合力が高まり、これまで以上に地域内で人・もの・お金・情報が連携し、かつ循環することで、地域の課題が解決され、強みを活かしたまちづくりが可能となります。

地域の強みを活かした、西胆振のまちづくりの可能性について7つのビジョンを示します。



地域づくりのかたち

西胆振地域が一つの地域として総合力を発揮するために、今後の連携のあり方を含めた新しいまちのかたちを考えることが大切です。まちのかたちとしては、今の市・町の枠組みを残しながら広域的な連携を図る「市町連携」、「広域連合」、「定住自立圏」のほかに「合併」など様々な方法があります。



今後は、このビジョンをもとに、西胆振地域の6つのまちの行政・住民の皆さんがともに話し合い協力しながら、地域の将来を考えていただき、様々なアイデアを具体化することで、西胆振地域の発展につなげていきたいと考えます。



西胆振地域づくりビジョン (概要版)

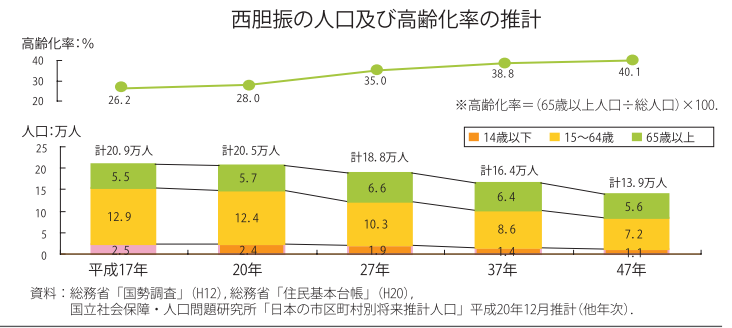
平成21年3月

このビジョンは、西胆振地域(室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町)の6つの市町の特長や強みを活かし、地域全体が発展するまちづくりの可能性を示すことによって、地域の住民の皆さんが将来のまちの姿について考える契機となることを目的として作成しました。

西胆振地域の現状

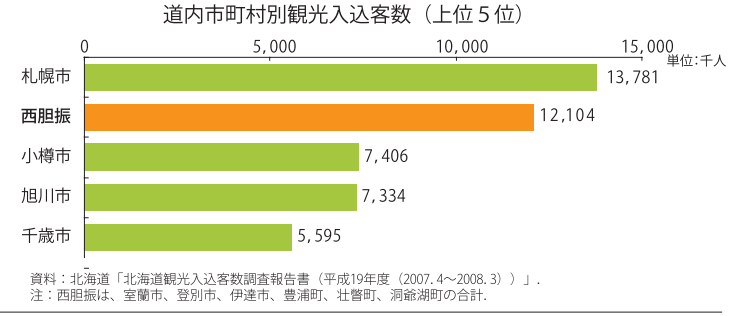
人口

西胆振地域の人口は、平成20年時点で約20万5千人と、札幌市、旭川市、函館市に次ぐ全道4位の規模ですが、平成47年には13万9千人程度まで減少すると予測されています。また、高齢化率は全道平均よりも高く、今後も上昇すると見込まれています。



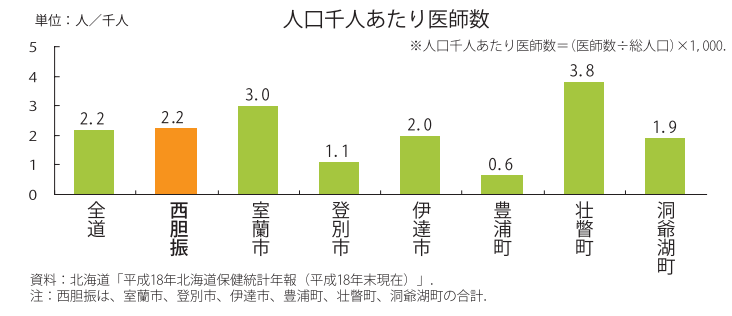
産業

西胆振地域では多種多様な農畜産物が生産され、全国的に有名なホタテのほかマツカワ、クロソイなどブランド化が進められている水産資源もあります。また鉄鋼業を中心とする製造業が集積し、観光入込客数は約1千2百万人(平成19年度)と、全道2位となっています。



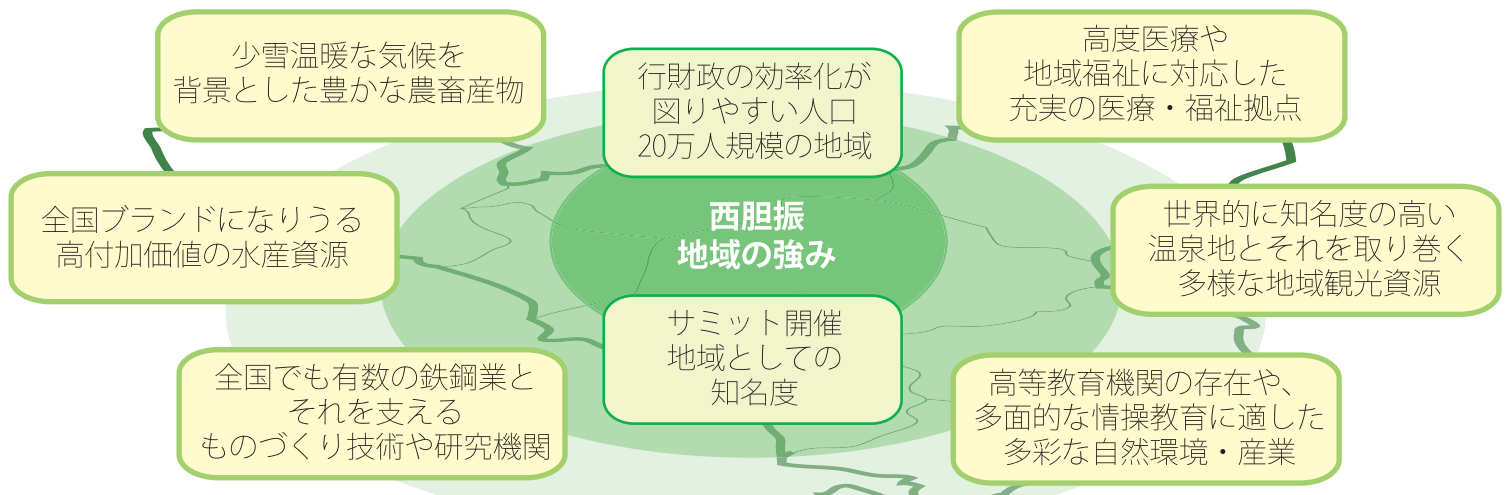
医療

西胆振地域には、高度で専門的な医療の提供が可能な大規模病院が複数存在しています。医師数は西胆振全体で全道平均並みですが、不足している地域もあり、高齢者人口の増加に伴う医療需要の増加が見込まれます。



西胆振地域の強み

西胆振地域には、様々な強みがあります。



安全・安心のまちづくり

西胆振地域の人々の暮らしについては、医師の確保や救急医療の確保、介護・福祉の人材確保、有珠山噴火等の大規模災害発生時の避難対応など単独自治体では解決できない課題があります。地域の関係機関や施設が連携を深めることにより、地域で安心して暮らすことが可能となります。

まちづくりの可能性

- ・ 安定的な医療体制の強化
- ・ 安定的な福祉体制の強化
- ・ 大規模災害時の円滑な避難対応

広域教育の促進

西胆振地域では、各まちでふるさと学習や職業体験等が行われています。また、専門学科や系列を有する高校、室蘭工業大学など幅広い人材育成が可能な教育機関もあります。地域が連携することで、多様で特色ある教育の展開や教育機関の維持が図られます。

まちづくりの可能性

- ・ 小中学生等を対象とした幅広い体験学習
- ・ 大学等と連携した総合教育の推進
- ・ 1次～3次産業の幅広い人材育成
- ・ 地域内の交流機会の創出

行財政の効率化

西胆振地域では、市町村の再編が進み、またごみ処理や共同電算事務などをはじめ様々な分野で広域連携も進めてきました。今後も地域が連携して事業を進めることで、行財政の効率化が図られ、住民に必要な行政サービスを安定的に提供できる体制の充実が可能となります。

まちづくりの可能性

- ・ 効率的な職員配置
- ・ 行政サービスの広域化

地域の特性や強みを活かし、西胆振が一つになることによるまちづくりの可能性を示す

7つのビジョン



地域のイメージアップ

西胆振地域は、20万人の人が暮らし、美しい自然環境、世界的にも有名な登別温泉・洞爺湖温泉があり、また農林水産業、製造業、観光業など多様な産業が集積しています。これらの特性や強みを各地域が連携してPRすることにより、知名度の向上とイメージアップが図られます。

まちづくりの可能性

- ・ 20万人が暮らす地域としてPR
- ・ 1,200万人が訪れる観光地域としてPR
- ・ 環境先進地域としてPR
- ・ マルチ産業地域としてPR

産業連携・新産業の創出

西胆振地域には、野菜・果物・畜産等の農畜産物、ホタテ等の豊富な水産物があります。また、道内でも有数の製造業集積地域であり、室蘭工業大学や室蘭テクノセンターなどの試験・研究機関もあります。各まちの特色ある産業が連携することにより、新しい商品開発や消費の拡大が促進されます。

まちづくりの可能性

- ・ 新エネルギー開発利用地域へ発展
- ・ 農商工連携の促進等による新産業の創出
- ・ 農畜産物・水産物の情報発信
- ・ 地産地消の推進

広域観光の促進

西胆振地域には、美しい自然環境、温泉、農林水産物などの特産品、各種産業、四季を通じた多様なイベントなどがあります。これらの観光資源のネットワーク強化を進めると同時に、地域観光全体の視点で観光人材の育成や戦略的なプロモーションを展開することにより、観光客のさらなる誘致と観光産業の活性化が図られます。

まちづくりの可能性

- ・ 多様な体験型観光プログラムの提供
- ・ 地域観光スペシャリストの育成
- ・ 地域の関連団体の連携推進

移住・定住の促進

西胆振地域では、各まちで移住促進の取り組みが行われていますが、地域の様々な魅力をネットワーク化しPRすることで、季節居住者、退職世代・現役世代などの移住希望者の多様なニーズに応えることが可能となり移住促進が図られます。また、福祉や農業など人材不足の分野で活躍してもらうことも可能となります。

まちづくりの可能性

- ・ 季節移住の促進
- ・ 退職世代の移住促進
- ・ 現役世代の移住促進